

小規模企業景気動向調査

[平成22年10月期調査]

～小売・サービス業を中心に更に悪化が続く小規模企業景況～

2010年12月7日
全国商工会連合会

<調査概要>

調査対象：全国約300商工会の経営指導員

調査時点：2010年10月末

調査方法：対象商工会経営指導員による調査票への選択記入式

<産業全体> ◇…3ヶ月連続でDIが落ち込んだ小規模企業景況…◇

10月期の小規模企業景気動向調査では、産業全体の業況DI(景気動向指数・前年同月比)は、▲41.4と前月調査に比べ0.7pt低下し、3ヶ月連続での悪化を示した。受注期が終わり、需要マインドの冷え込みが影響した建設業をはじめ、製造、小売、サービス業においても、弱含みで推移する形となった。円高やデフレ等の不安定要因は依然として続いており、今後の見通しについて不安視する声は大きい。

<製造業> ◇…円高等外部要因の影響により悪化した製造業…◇

製造業DIは、▲30.4と前月比で1.1ptの悪化となっている。製造業DIが前月の実績を下回ったのは3ヶ月連続で、リーマンショック以降の持ち直しを牽引してきた製造業の弱含みは、地域経済にとって大きな不安定要因となっている。分野別では、建機や電子部品等の業種は、中国等アジア需要により堅調を伝える声も大きくあるが、自動車部品関連業種においては不調が伝えられている。「円高により、親会社の売上が減少しており、値下げ要請が厳しい」(東京都)や「エコカー補助金が終了し、生産も調整気味」(兵庫県)等、円高や補助制度終了による反動減を指摘する声が聞かれている。

<建設業> ◇…業況低迷が慢性化する建設業…◇

建設業DIは、▲53.6と3.0ptの改善となっている。官公庁工事の発注により「今年いっぱいは一息つける」(鹿児島県)との声があがっている。また、住宅エコポイント制度によりリフォーム関連で好調との声も一部で散見されている。しかし、大部分の地域からは、公共事業の減少による受注減、競争激化に伴う利益率の悪化等を伝える声が多く、中期的に業況低迷が慢性化している状況が伝えられている。

<小売業> ◇…政策効果の反動減が懸念される小売業…◇

小売業のDIは、▲41.3と前月に比べ3.1ptのマイナスとなっている。エコポイント制度による薄型テレビの買い替え需要等により家電小売業からは堅調との声が聞かれている。しかしながら「12月の制度変更を見据えた駆け込み需要に過ぎない。」(岡山県)との指摘が大半で、反動減を懸念する声は大きい。衣料品については、残暑が続いたことから秋物は厳しいものの冬物については堅調とのこと。

<サービス業> ◇…消費手控え傾向が続くサービス業…◇

サービス業DIは、▲40.6と3ヶ月連続での悪化。顧客の消費手控え傾向により「価格競争が激しく、何らかの形で差別化が図れないと厳しい。」(青森県)や「外食関係では、来客数、客単価共に減少している」(東京都)といった声が聞かれている。また、運送業者からは、「円高の影響により、製造業の稼働率が悪化し、そのあおりを受けている。」(石川県)との声が聞かれた。

業種	産業全体			製造業			建設業		
	9月	10月	前月比	9月	10月	前月比	9月	10月	前月比
売上額	▲36.4	▲39.0	▲2.6	▲23.9	▲24.0	▲0.1	▲42.4	▲50.0	▲7.6
採算	▲37.8	▲39.3	▲1.5	▲29.1	▲31.1	▲2.0	▲52.6	▲55.1	▲2.5
資金繰り	▲35.5	▲35.0	0.5	▲26.7	▲25.7	1.0	▲51.8	▲53.6	▲1.8
業況	▲40.7	▲41.4	▲0.7	▲29.3	▲30.4	▲1.1	▲56.6	▲53.6	3.0

業種	小売業			サービス業		
	9月	10月	前月比	9月	10月	前月比
売上額	▲36.1	▲39.7	▲3.6	▲42.9	▲42.1	0.8
採算	▲35.5	▲38.0	▲2.5	▲33.8	▲33.3	0.5
資金繰り	▲33.4	▲32.6	0.8	▲30.3	▲28.2	2.1
業況	▲38.2	▲41.3	▲3.1	▲38.8	▲40.6	▲1.8

注) DI(景気動向指数)は各調査項目について、増加(好転)企業割合から減少(悪化)企業割合を差し引いた値を示す。

全国商工会連合会 市場開拓支援課

〒1050004 東京都港区新橋 2-16-1 ニュー新橋ビル 8F TEL:03-3503-1256 FAX:03-3580-6577 担当:森田 修造